

北九州市立大学大学院

国際環境工学研究科

外国人学生等特別選抜 冬期日程

博士前期(修士)課程 学生募集要項

2027 年度 4 月入学

2027 年度 10 月入学



目 次

《アドミッションポリシー》	1
1. 実施日程	4
2. 募集人員	4
3. 出願資格	4
4. 出願手続	6
5. 選考方法および試験科目	9
6. 試験会場	11
7. 受験上の注意	11
8. 合格発表	11
9. 入学手続	12
10. 入学に関する経費	12
11. 授業料	12
12. 長期履修学生制度	13
13. 安全保障輸出管理について	13
14. その他	13
《授業科目の概要》	14
《各専攻における履修コースの教育研究内容・研究指導教員》	19
○環境システム専攻	
資源化学システムコース	20
生命工学コース	21
環境生態システムコース	22
○環境工学専攻	
機械システムコース	23
建築デザインコース	24
○情報工学専攻	
計算機科学コース	25
融合システムコース	26

《アドミッションポリシー》

●環境システム専攻

コース名	求める学生像	求める能力		
		①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
資源化学システム	○エネルギー・環境・資源をはじめとする科学分野に関心を持ち、大学院で修得する知識・論理を基に、化学・環境技術者としてより高い視点から活躍を志す人 ○大学で学んだ知識を基礎とし、大学院での高度かつ専門的な知識・論理の修得を目指している人	○より専門的な科学技術を学ぶ上で基礎となる化学・環境工学に関する知識を身につけている。 ○エネルギー・環境・資源に関するより多様かつ専門的な学修のため、大学までに得た知識を応用できる力を身につけている。 ○日本語あるいは英語に基づいたコミュニケーション能力を有している。	○エネルギー・環境・資源をはじめとする諸分野における課題の本質を見抜き、その重要度・緊急性に応じて、解決策を講じる優先順位を判断する力を身につけている。 ○エネルギー・環境・資源をはじめとする諸分野における課題への解決策を、論理的に複数の可能性を考慮した上で導き、それを他者に明確に伝える力を身につけている。	○エネルギー・環境・資源をはじめとする科学分野に強い関心を持ち、多角的・総合的な視点から、自己の向上を志して、積極的に学ぶ意欲と行動力を持っている。 ○自己の専門・非専門を問わず、他者との協議・討論を通して課題解決の手法を見出し、協働により課題解決ができる力を身につけている。
生命工学※	○化学と生物学を基盤とした、医療・生命・環境などに関する高度な専門的知識の習得を目指している人 ○医療・生命・環境などの分野における国際的な場で活躍できる高い能力を身につけ、社会に貢献したい人	○生命工学に関する専門的知識を獲得する上で必要な生命科学、物質科学、環境科学に関する基礎学力を有している。 ○生物・化学・物理実験・調査、数理解析などを通して、健康、環境や生態系に配慮しながら技術開発を進める基本的技能を身につけている。 ○日本語、英語に基づいたコミュニケーション能力を有している。	○医療・生命・環境などの分野における様々な課題を理解し、思考発展させ、得られた結論を適切な方法で表現する能力を身につけている。	○医療・生命・環境などの分野における諸問題に対して、他者と協力して相互に啓発し合いながら課題解決を図る姿勢を有している。 ○多様かつグローバルな視点から、社会に貢献しようとする意欲を持っている。
環境生態システム	○地域やアジア諸国をはじめとする発展途上国における環境社会システム構築のために活躍できる高度専門職業人および研究者を目指している人 ○持続可能な社会構築のため高度な専門的知識の習得を目指している人	○環境調査、環境計画、生態系管理の基礎となる自然科学および数理分野の基礎的学力を有し、環境社会や自然共生社会の構築に寄与できる創造的・実践的知識の素養を持っている。 ○社会・環境フィールド調査、環境シミュレーション、環境マネジメントに関わる専門的スキル・手法を使って問題を解決する能力の素養を持っている。 ○日本語あるいは英語に基づいたコミュニケーション能力を有している。	○現実の環境問題に柔軟に対応し、地域・国土のみならず国際環境社会の中で広い視野をもって問題に対処できる思考力と判断力の素養を持っている。	○環境問題に関わる資源、エネルギー、自然生態系、経済、経営などの分野にも関心を持ち、高度な研究を实践する素養を持っている。 ○地域や企業、行政など関係する機関と協力して環境問題の解決に自律的に取り組む素養を持っている。

※バイオシステムコースは、2027年4月より「生命工学コース」へ名称を変更します。

●環境工学専攻

コース名	求める学生像	求める能力		
		①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
機械システム	○環境負荷の低減と経済発展の両立を“持続可能な開発”と捉えたとともに、グローバルな視点を持って活躍できる機械技術者・研究者を目指している人 ○機械工学に関する高度な専門性を身につけるための努力を惜しまない人 ○創造力と自主性を備え、先端研究分野に挑戦する意欲を持っている人	○機械工学分野の基礎科目を修得しており、より専門的な知識と技術を高めるための基礎学力と適性を有している。 ○機械技術者・研究者に必要な基本的な教養と倫理観を身につけている。 ○日本語、英語に基づいたコミュニケーション能力を有している。	○機械工学の課題を論理的に思考、判断して解決するための能力を持ち、自分の考えや課題の検討結果などを他者に的確に伝えることができる。	○機械工学に関する課題に対し、主体性を持って多様な人々と協働して取り組むことができる。
建築デザイン	○未来へ繋がる建築を実現できる高度な専門知識と国際的な場で活躍できる高い能力の習得を目指している人 ○技術の分かるデザイナー、デザインの分かる高度専門職業人および研究者を目指している人	○自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に建築全般に関わる専門知識を有している。 ○地球環境に配慮した建築、地域・都市の計画、設計、施工、保全、再生などの基本的技能を身につけている。 ○日本語、英語に基づいたコミュニケーション能力を有している。	○国際的および持続可能性の視点をもって様々な課題を抽出し、地球環境に配慮しながら解決方法を企画・立案し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。	○地域や組織の中で他者と協力して相互に啓発しあいながら問題解決に取り組む力を身につけている。 ○自律的・継続的に学び続ける意欲を持ち、社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的な行動力を身につけている。

●情報工学専攻

コース名	求める学生像	求める能力		
		①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
計算機科学	○人工知能、画像処理、制御理論、情報ネットワーク、情報セキュリティ、および、データサイエンスに関する高度な専門知識と技能の習得を目指している人 ○国際的な場で活躍できる高い能力を身につけた専門職業人および研究者を目指している人	○計算機科学を学ぶために必要な、人工知能、画像処理、制御理論、情報ネットワーク、情報セキュリティ、および、データサイエンスに関する基本的な知識・技能を身につけている。 ○日本語、英語に基づいたコミュニケーション能力、情報を読み解く力、表現力を身につけている。	○人工知能、画像処理、制御理論、情報ネットワーク、情報セキュリティ、および、データサイエンスに関する課題を解決するために必要な思考力と判断力を持ち、思考・判断の過程と導かれた結論を表現する能力を身につけている。	○人工知能、画像処理、制御理論、情報ネットワーク、情報セキュリティ、および、データサイエンスに関する課題について、地域や組織の中で多様な人々と主体的にコミュニケーションをとり、協働して学びながら課題の解決に取り組む態度を持っている。
融合システム	○人工知能、集積システム、ロボティクス、ソフトウェア、医用工学・生体情報処理、自然言語処理、および、データサイエンス、また、これらを融合したシステムに関する高度な専門知識と技能の習得を目指している人 ○国際的な場で活躍できる高い能力を身につけた専門職業人および研究者を目指している人	○人工知能、集積システム、ロボティクス、ソフトウェア、医用工学・生体情報処理、自然言語処理、および、データサイエンス、また、これらを融合したシステムに関する高度な専門知識を学ぶために必要な基本的な知識・技能を身につけている。 ○日本語、英語に基づいたコミュニケーション能力、情報を読み解く力、表現力を身につけている。	○人工知能、集積システム、ロボティクス、ソフトウェア、医用工学・生体情報処理、自然言語処理、および、データサイエンス、また、これらを融合したシステムに関する課題を解決するために必要な思考力と判断力を持ち、思考・判断の過程と導かれた結論を表現する能力を身につけている。	○人工知能、集積システム、ロボティクス、ソフトウェア、医用工学・生体情報処理、自然言語処理、および、データサイエンス、また、これらを融合したシステムに関する課題について、地域や組織の中で多様な人々と主体的にコミュニケーションをとり、協働して学びながら課題の解決に取り組む態度を持っている。

1. 実施日程

出 願 期 間	2026 年 10 月 13 日（火）～10 月 23 日（金）必着 ※出願資格の事前審査・オンライン試験審査は 2026 年 9 月 11 日（金）必着
試 験 日	2026 年 12 月 6 日（日）（試験開始時刻は 9～10 ページ参照） 集合時間：筆記試験は試験開始時刻 30 分前 口頭試問・面接は試験開始時刻 20 分前 ※災害等で試験を予定どおりに実施できない場合は、試験日程の変更を行う可能性があります。試験日程の変更を行う場合は本学のホームページにてお知らせします。 https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/graduate/env-info.html 
試 験 会 場	北九州市立大学 ひびきのキャンパス（北九州市若松区ひびきの 1 番 1 号）
合 格 発 表 日	2026 年 12 月 16 日（水）

※【オンライン試験について】（環境生態システムコース・建築デザインコースのみ）

本研究科委員会が認めた場合に限り、オンラインによる口頭試問等を行うことがあります。詳細については、【出願資格の事前審査・オンライン試験審査について】（5 ページ）を参照してください。

2. 募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
国際環境工学研究科	環境システム専攻	若干名
	環境工学専攻	若干名
	情報工学専攻	若干名

3. 出願資格

日本の大学の学士を有する者又は取得見込みの者は、出願できません。

◆2027 年 4 月入学

次の（1）から（4）までのいずれかに該当する者

- （1）外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- （2）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- （3）外国の大学等において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- （4）本研究科委員会において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

※出願資格（4）によって出願しようとする場合は事前に出願資格審査を行います。

◆2027 年 10 月入学

次の（１）から（４）までのいずれかに該当する者

- （１）外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2027 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- （２）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2027 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- （３）外国の大学等において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は 2027 年 9 月 30 日までに授与される見込みの者
- （４）本研究科委員会において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027 年 9 月 30 日までに 22 歳に達する者

※出願資格（４）によって出願しようとする場合は事前に出願資格審査を行います。

【出願資格の事前審査・オンライン試験審査について】

※出願資格（４）に該当する者・オンライン試験を希望する者

本研究科委員会が行う出願資格・オンライン試験審査は、出願前に個別に行います。

出願資格（４）に該当する方とオンライン試験を希望する方は、以下の要領で必要書類を提出してください。ただし、提出前に必ず希望する研究指導教員と連絡をとってください。

希望する研究指導教員についての相談は、19 ページの《各専攻における履修コースの教育研究内容・研究指導教員》を参照してください。

（a）提出書類 ※詳細は 6～7 ページの提出書類参照

- 出願資格審査／オンライン試験事前審査申請書（Form 2）
- 研究領域等希望調査書（Form 1）
- 入学希望理由書（A 4 サイズ、様式自由）
- 最終学歴の成績証明書

※日本語及び英語表記でない成績証明書は、必ず日本語または英語に翻訳したものを添付してください。

- これまでの業績や研究内容等を説明できるもの
- 入学後指導を希望する本学教員の研究指導受入同意書
※資源化学システムコース、生命工学コース志望者のみ、様式自由

（b）審査受付期間

2026 年 9 月 11 日（金）まで

（c）提出・問い合わせ先

北九州市立大学事務局学務課入学試験係

〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1 番 1 号

TEL: 093-695-3340 E-mail: nyushi@kitakyu-u.ac.jp

※日本在住の方：提出書類を窓口持参または郵送（速達簡易書留）にて、審査受付期間内に到着するように発送してください。

※海外在住の方：提出書類を審査受付期間内に EMS 等にて発送してください。

また、原本発送前に、PDF 化した提出書類を審査受付期間内に学務課入学試験係へメールに添付して送信してください。

（d）審査結果の通知

本人にメールにて通知します。

4. 出願手続

日本在住の方は、提出書類を窓口持参または郵送（速達簡易書留）にて、出願期間内に到着するように発送してください。

海外在住の方は、提出書類を一括して封筒（各自で用意してください）に入れ、郵送（EMS等）により出願期間内に到着するように提出してください。また、原本発送（EMS等）前に、PDF化した提出書類を出願期間内に学務課入学試験係へメールに添付して送信してください。

出願前に必ず希望する研究指導教員と連絡をとってください。希望する研究指導教員についての相談は 19 ページの《各専攻における履修コースの教育研究内容・研究指導教員》を参照してください。

（1）出願登録

インターネットによる「出願登録」を行います。

出願登録等の手順は、本学ホームページから「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。

<https://www.kitakyu-u.ac.jp/>

※本学ホームページにアクセスしづらい場合は、直接「インターネット出願サイト（<https://www.guide.52school.com/guidance/net-kitakyu-u/>）」にアクセスしてください。

（2）入学検定料の支払い

入学検定料 30,000 円（別途、サービス利用料 900 円）をお支払いください。

入学検定料の支払手順は、「インターネット出願」サイトで確認してください。

（3）出願書類の提出

出願登録、入学検定料支払い後、出願書類を提出してください。

（4）出願期間等

出願期間	2026 年 10 月 13 日（火）～10 月 23 日（金）必着
出願登録・検定料支払期間	2026 年 10 月 6 日（火）～10 月 23 日（金）16:00

（5）受付時間（土曜、日曜、祝日を除く）

（窓口受付）平日：午前 8 時 30 分 ～ 午後 4 時 00 分（最終日は午後 5 時 00 分まで）

（郵 送）2026 年 10 月 24 日（土）以降に郵送により到着したものについては、2026 年 10 月 22 日（木）までの日本国内の消印があり、かつ速達簡易書留郵便の場合に限り受理します。

（6）提出先 北九州市立大学事務局学務課入学試験係

〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1 番 1 号

TEL: 093-695-3340 E-mail: nyushi@kitakyu-u.ac.jp

（7）提出書類

インターネット出願登録内容の印刷	
出願確認票	インターネット出願登録後、印刷したもの。 ※縦 4cm×横 3cm サイズ、上半身、無帽、無背景、正面向きで、出願前 3 ヶ月以内に撮影したカラー写真の裏面に氏名を記入の上、所定の欄にしっかり貼り付けてください。
写真票	インターネット出願登録後、印刷したものに写真を貼り付けてください。貼付写真については『出願確認票』の説明と同じです。
宛名ラベル	※郵送の場合のみ インターネット出願登録後、印刷したものを角形 2 号（角 2）封筒に貼り付けてください。
その他必要書類	
研究領域等希望調査書（Form 1）	<u>出願前に、希望する研究指導教員と連絡をとってから作成してください。</u>

入学希望理由書	A4サイズで1枚程度、様式自由。必ず氏名・志望専攻・コース名を記入してください。
出身大学等の成績証明書	出身大学または在籍している大学等が発行した成績証明書を提出してください。(原本または原本証明を提出) ※日本語及び英語表記でない成績証明書は、必ず日本語または英語に翻訳したものを添付してください。
出願資格を証明する書類	出身大学等発行の卒業証明書または卒業見込証明書(または在学証明書)を提出してください。(原本または原本証明を提出) ※出身大学等発行の原本を提出できない場合は、代わりに原本から正しく複製されたものであることを出身大学または大使館、公証役場などの公的機関が証明したものを添付してください。 ※日本語及び英語表記でない成績証明書は、必ず日本語または英語に翻訳したものを添付してください。
住民票 または パスポートの写し	日本国内在住者：住民票（出願前1ヵ月以内に発行したもので、在留資格及び在留期間が記載されたもの） 海外在住者：パスポートの写し（顔写真及び有効期限が記載されたページ）

【出願上の注意】

- ・出願書類に不備がある場合は受理しません。
- ・出願受付後は、いかなる事情があっても出願内容の変更及び入学検定料の返還には応じられません。
- ・虚偽の記載があった場合は、たとえ合格しても入学許可を取り消します。
- ・いったん正当に受理した出願提出書類等は返却できません。
- ・出願資格要件を満たす見込みで受験し合格した者が、次の期間までに所定の要件を満たすことができなかった場合は、入学許可を取り消します。

2027年 4月入学 : 2027年 3月 31日まで

2027年 10月入学 : 2027年 9月 30日まで

【受験票について】

- ・受験票印刷可能期間：2026年10月30日（金）～2027年3月31日（水）
- ・受験票は、印刷可能期間中インターネット出願サイトの「申込確認」画面から印刷可能です。A4サイズの用紙に印刷し、二つ折りにしてください。
- ・試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。
- ・受験票は、入学手続に必要ですので、大切に保管しておいてください。

【身体に障害を有する場合等の受験上の特別措置について】

身体に障害を有するなど、受験上及び就学上特別な配慮を必要とする入学志願者は、その措置を講ずるための審査が必要となりますので、事前に相談のうえ出願2週間前までに必要書類を添えて申し出てください。審査の結果、必要と判断された措置の内容を通知しますので、その通知書を添えて出願してください。

《問い合わせ先》

北九州市立大学事務局学務課入学試験係

〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1番1号

TEL: 093-695-3340 E-mail: nyushi@kitakyu-u.ac.jp

【個人情報の取扱いについて】

本学が所有する個人情報は、公立大学法人北九州市立大学個人情報保護管理規程に基づき、適正に取り扱い、以下の目的以外で利用すること、または第三者に提供することはありません。

- ・ 志願者の氏名、生年月日、連絡先などの個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続、調査研究及びこれらに付随する業務の遂行に利用します。
- ・ 合格者の個人情報は、入学手続者に対する入学前指導、入学後の教務関係、学生支援関係、授業料徴収関係などに関する業務のために利用します。

5. 選考方法および試験科目

【選考方法】

試験科目結果、出願書類等を総合して行います。

【オンライン試験事前審査について】

本研究科委員会が認めた場合に限り、通常の試験科目に代えてオンラインによる口頭試問等を行うことがあります。詳細については、【出願資格の事前審査・オンライン試験審査について】（5 ページ）を参照してください。

【試験科目】

◆環境システム専攻

○資源化学システムコース

試験科目	試験時間（日本時間）
口頭試問・面接	13：30～

（注）試験は、日本語または英語で行います。

※出願登録画面の「受験時使用言語」で選択してください。

○生命工学コース

バイオシステムコースは、2027 年 4 月より「生命工学コース」へ名称を変更します。

試験科目	試験時間（日本時間）
口頭試問・面接	13：30～

（注）試験は、日本語または英語で行います。

※出願登録画面の「受験時使用言語」で選択してください。

環境生態システムコース

試験科目	試験時間（日本時間）
口頭試問・面接	13：30～

（注 1）試験は、日本語または英語で行います。

※出願登録画面の「受験時使用言語」で選択してください。

（注 2）口頭試問は、環境マネジメントの専門科目及びこれまでの研究や大学院での研究計画に関連した質疑応答を行います。

（注 3）日本語または英語の語学能力を証明する書類を持っている人は、試験当日持参してください。（例：日本語能力試験のスコア、TOEIC(TOEIC L&R)スコア、TOEFL-iBT スコア等）※必須ではありません。

◆環境工学専攻

○機械システムコース

試験科目	試験時間（日本時間）
専門科目（機械工学）	10：30～12：00
口頭試問・面接	13：30～

（注1）試験は、日本語または英語で行います。

※出願登録画面の「受験時使用言語」で選択してください。

（注2）専門科目（機械工学）は、材料力学・機械力学・流体力学・熱力学から出題します。

○建築デザインコース

試験科目	試験時間（日本時間）
口頭試問・面接	13：30～

（注1）試験は、日本語または英語で行います。

※出願登録画面の「受験時使用言語」で選択してください。

なお、日本語を選択した場合、英語の能力を確認することがあります。

（注2）口頭試問は、建築の専門科目及びこれまでの研究や大学院での研究計画に関連した質疑応答を行います。卒業研究の概要、設計課題などの概要を示すポートフォリオなどを用意しておくことを推奨します。

（注3）日本語または英語の語学能力を証明する書類を持っている人は、事前に提出してください。（例：日本語能力試験のスコア、TOEIC(TOEIC L&R)スコア、TOEFL-iBT スコア、IELTS スコア、CEFR スコア等）※必須ではありません。

◆情報工学専攻

○計算機科学コース

○融合システムコース

試験科目	試験時間（日本時間）
数学（線形代数、微分・積分、常微分方程式、確率・統計の範囲から出題）	10：30～12：00
口頭試問・面接	13：30～

（注1）試験は、日本語または英語で行います。

※出願登録画面の「受験時使用言語」で選択してください。

（注2）口頭試問は電子情報工学についての専門知識とします。

6. 試験会場

北九州市立大学 ひびきのキャンパス (北九州市若松区ひびきの1番1号)

※主要交通機関：北九州市営バス、西鉄バス

●JR 折尾駅バス停より乗車(約20分)⇒学研都市ひびきのバス停下車



《オンライン試験の場合》

オンライン面接に関わる具体的な調整事項については、各コースの教員より、後日出願者に連絡します。

7. 受験上の注意

- (1) 受験には必ず受験票を持参してください(受験票は2026年10月30日(金)から印刷可能)。
- (2) 遅刻は、試験開始後20分までに試験室に入室した者に限り認めます。
ただし、面接の遅刻は認めません。
- (3) 定期的に運行している公共交通機関の大幅な遅れにより試験開始時刻に遅刻した場合は、所定の試験時間を確保して試験を行います。その際、公共交通機関を利用したことの証明のため、乗車時刻、到着時刻等をあらかじめメモしておいてください。
- (4) 筆記具、腕時計(計算機能、翻訳機能、辞書機能等の多機能時計は厳禁)を持参してください。貸し出しは一切できません。
- (5) 自家用車での来場は固くお断りします。
- (6) 試験当日は、キャンパス内の案内表示に従ってご来場ください。

《オンライン試験の場合》

- (1) オンライン試験時、受験票の提示を求めます(受験票は2026年10月30日(金)から印刷可能)。
- (2) 試験開始20分前までにインターネットに接続できる状態にしておいてください。
- (3) 志願者数によっては、面接開始時間が変更となる可能性があります。

8. 合格発表

以下の日時に、合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者のみに合格通知書を送付します。なお、受験者本人であっても、電話による可否に関する照会には一切応じられません。

合格発表日時	2026年12月16日(水) 午前10時頃	
合格発表場所	北九州市立大学ホームページ https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/pass-information.html	

9. 入学手続

入学手続に関する詳細については「合格通知」送付の際にお知らせします。

2027 年 4 月入学者入学手続期間	2027 年 1 月 4 日（月）～ 1 月 8 日（金）
2027 年 10 月入学者入学手続期間	2027 年 7 月 13 日（火）～ 7 月 21 日（水）

（注 1）いったん納入された入学金は、いかなる理由があっても返還できません。

（注 2）期間内に入学手続を完了しなかった場合は、入学辞退として取扱います。
理由のいかんを問わず、入学手続期間の延長は行いません。

（注 3）期間内に、入学金の納入、必要書類の提出を完了した者に入学を許可します。

（注 4）入学手続には、受験票が必要です。大切に保管しておいてください。

10. 入学に関する経費

種 別	金 額（注 1）	備 考
入 学 金	北九州市内居住者 282,000 円	（注 2）
	北九州市外居住者 423,000 円	
同 窓 会 費	50,000 円	本学卒業生で、既に納めている方は不要
後 援 会 費	20,000 円	
学生教育研究 災害傷害保険料	2 ヶ年分 1,750 円	
学研災付帯 賠償責任保険料	2 ヶ年分 680 円	

（注 1）経費は現行（2026 年度入学者）の金額です。変更されることがあります。

（注 2）北九州市内居住者とは、入学する本人又はその配偶者もしくは 2 親等内の親族が、入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者（又は、市民税非課税者）であり、かつ入学金納入のときまで引き続き北九州市内に住所を有する者をいいます。

なお、「入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者（又は、市民税非課税者）」であるためには、2026 年 1 月 1 日現在北九州市に在住していることが必要です。

※同窓会費・後援会費・保険料については、入学の必須条件ではありません。

11. 授業料

年間授業料 535,800 円

（1）現行の金額です。在学中に授業料及び納入方法等の改定が行われた場合には、改定時から適用されます。

（2）授業料は、年間 2 期の分割納入です。納入期限日（当日が金融機関休業日の場合は、翌営業日）に口座振替で納入していただきます。

1 2. 長期履修学生制度

国際環境工学研究科では、社会人学生の支援として長期履修学生制度を導入しています。長期履修学生制度とは、職業を有している等の事情によって、標準修業年限を超えて、計画的に教育課程を履修する事を認める制度です。博士前期課程においては2年・博士後期課程においては3年を限度とし、1年単位で延長が認められます。

この制度を適用する学生の授業料総額は、標準修業年限で卒業する学生が納める授業料総額と同額です。

1 3. 安全保障輸出管理について

北九州市立大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「北九州市立大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。

1 4. その他

《入学に際しての留意事項》

入学手続後に在留資格が「留学」でない場合は、速やかに法務省入国管理局で在留資格を「留学」に変更してください。なお、在留資格が「留学」でない場合は、留学生に対する各種奨学金の対象にならないことがあります。

《授業科目の概要》

博士前期課程

修了に必要な単位は 30 単位以上

《内訳》

- ・ 共通科目から 4 単位以上
- ・ 専門科目から 18 単位以上
- ・ 特別研究科目 8 単位（特別研究）

【各専攻共通科目】

《共通科目》（各 2 単位）
企業環境マネジメント論
知的財産の生産と活用
Academic Presentation I
Academic Presentation II
実践技術者倫理
環境原論
起業家精神とスタートアップ
学外特別研修（インターンシップ）
アジアの環境問題
グリーンテクノロジー

【環境システム専攻】

資源化学システム	《専門科目》（各 2 単位）
	資源化学講究Ⅰ（1 単位）
	資源化学講究Ⅱ（1 単位）
	資源化学講究Ⅲ（1 単位）
	資源化学講究Ⅳ（1 単位）
	エネルギー・反応化学
	化学反応工学
	分光分析論
	固体材料化学
	環境反応工学
	高分子材料化学
	環境保全化学
	資源循環技術
	地球環境プロセス工学
	資源化学システム特論Ⅰ
	資源化学システム特論Ⅱ
生命工学 ※	《専門科目》（各 2 単位）
	環境微生物学
	高分子物性論
	バイオシミュレーション
	生体材料論
	生態システム論
	生物センサー工学
	応用微生物学
	環境応答生理学
	生体医工学
	生物無機化学
	原生生物学
	分子細胞生物学
	環境リスク学
	環境情報システム論
	バイオインフォマティクス

※バイオシステムコースは、2027 年 4 月より「生命工学コース」へ名称を変更します。

環境生態システム	《専門科目》（各 2 単位）
	環境経済論
	エネルギー環境工学
	環境経営システム論
	環境情報システム論
	都市環境評価・計画論
	リスクマネジメント
	環境微生物学
	応用微生物学
	環境応答生理学
	生態システム論
	持続可能発展論
《特別研究科目》（8 単位）	
特別研究	

【環境工学専攻】

機械システム	《専門科目》（各 2 単位）
	流体力学特論
	エネルギー工学特論
	熱力学特論
	システム制御工学特論
	金属加工学特論
	材料力学特論
	機械要素設計特論
	機械力学特論
	先端工学特論
	再生可能エネルギー事業評価論
	プロジェクトマネジメント
建築デザイン	《専門科目》（各 2 単位）
	建築エンジニアリング・デザインプログラム
	環境共生都市づくり論
	世代間建築特論
	環境空間設計学
	建築生産管理論
	環境調和型材料工学特論
	構造解析学
	建築材料特論
	建築構造設計
	耐震構造学
	環境設備システム論
	建築・都市エネルギー論
	音と光の環境デザイン特論
	熱と空気の環境デザイン特論
	建築実務インターンシップ（4 単位）
	低炭素建築都市デザイン論
	建築・都市計画特論
	国際建築工学・設計・技術特論
《特別研究科目》（8 単位）	
特別研究	

【情報工学専攻】

計算機科学	《専門科目》（各 2 単位）	
	情報セキュリティ論	
	パターン認識応用	
	適応信号処理	
	動的システム論	
	ソフトコンピューティング	
	ネットワークアーキテクチャ	
	画像処理	
	情報通信論	
	情報ネットワーク論	
融合システム	《専門科目》（各 2 単位）	
	システム制御理論	
	組み合わせ最適化論	
	ソフトウェア検証論	
	ソフトウェア論	
	視覚情報処理	
	感覚測定概論	
	行動解析	
	医用工学基礎	
	テスト容易化設計	
	VLSI 物理設計	
	組込みハードウェア	
	信号解析	
	自然言語処理	
《特別研究科目》（8 単位）		
特別研究		

《各専攻における履修コースの教育研究内容・研究指導教員》

希望する研究指導教員については、各コース長にご相談ください。
コース長のメールアドレスは以下の通りです。

《問い合わせ先》

○環境システム専攻

資源化学システムコース	shigen@kitakyu-u.ac.jp
生命工学コース ※	biosys@kitakyu-u.ac.jp
環境生態システムコース	envsys@kitakyu-u.ac.jp

※バイオシステムコースは、2027年4月より「生命工学コース」へ名称を変更します。

○環境工学専攻

機械システムコース	kikai@kitakyu-u.ac.jp
建築デザインコース	kenchiku@kitakyu-u.ac.jp

○情報工学専攻

計算機科学コース	jyohou@kitakyu-u.ac.jp
融合システムコース	

環境システム専攻

【資源化学システムコース】

教員名	研究テーマ・領域
秋葉 勇 AKIBA Isamu	高分子材料の合成に関する研究 合成高分子の構造と物性に関する研究
今井 裕之 IMAI Hiroyuki	ナノスケールの空間を機能化した材料の開発および化学反応への応用 多様な炭素資源から化学品製造のための反応プロセスの設計
郡司 貴雄 GUNJI Takao	燃料電池用電極触媒の開発、電気化学的 CO ₂ 還元反応、光触媒用助触媒の研究
菅原 一輝 SUGAWARA Kazuki	生物機能を活用した汚染環境の浄化に関する研究 生物－環境間の相互作用および元素・物質動態の解明
寺嶋 光春 TERASHIMA Mitsuharu	水資源循環利用プロセスの研究開発 用排水処理システムのモデル化とシミュレーション
寺本 高啓 TERAMOTO Takahiro	超短パルスレーザーを用いた超高速分光による次世代太陽電池、スピントロニクスデバイスの光誘起超高速ダイナミクスの解明
西浜 章平 NISHIHAMA Syouhei	有価廃棄物からのレアメタルの分離回収プロセス 水中の有害汚染物質の分離除去プロセス
三野 泰志 MINO Yasushi	資源・環境に関わる粒子分散系の流動・輸送現象を対象とした実験と数値シミュレーション
宮脇 崇 MIYAWAKI Takashi	化学物質の網羅的分析手法の開発 化学物質の環境動態及びリスク評価に関する研究
山本 勝俊 YAMAMOTO Katsutoshi	多孔質材料の開発と触媒への応用 有機－無機ハイブリッド型多孔体の創製
山本 雅納 YAMAMOTO Masanori	炭素材料化学、触媒化学、電解合成化学を基盤とした合成および反応理解に関する研究
李 丞祐 LEE Seung-Woo	機能性ナノ材料、先端計測デバイスの開発 生体低分子・揮発性代謝物に基づいたナノ医療工学

【生命工学コース】

バイオシステムコースは、2027年4月より「生命工学コース」へ名称を変更します。

教員名	研究テーマ・領域
磯田 隆聡 ISODA Takaaki	新しいバイオセンサーの開発と応用：1. 食品衛生のための微生物センサー、2. ウイルス・感染症の迅速検査
伊藤 理彩 ITO Lisa	1. サンゴ礁の島における重金属汚染などの環境問題 2. 製品中に含まれる化学物質の国境を越えた移動（大気を媒介とした越境汚染も含む）と生態系への影響 3. 環礁の表層堆積物の土壌化と硝化細菌の関係
上江洲 一也 UEZU Kazuya	生物の特異的応答を利用した新規バイオセンサーの創製 細胞内情報経路を標的としたリン酸化タンパク質分離材料の創製 計算化学的アプローチによる分子認識材料の設計 生態系への影響を大幅に低減した林野火災用泡消火剤の開発
河野 智謙 KAWANO Tomonori	環境と生物との相互作用と光合成（天然・人工）をテーマに国際連携・産学連携に取り組んでいます。
木原 隆典 KIHARA Takanori	骨石灰化形成機構の解明 平滑筋細胞の形質転換機構の解明 細胞の物理的性質の解析とそのシミュレーション
土谷 享 TSUCHIYA Akira	材料表面での細胞機能制御 in vitro 骨粗鬆症モデルの構築 新規インプラント材の開発
中澤 浩二 NAKAZAWA Kohji	細胞パターンニング技術および細胞マイクロチップの開発 培養微小環境と細胞分化特性の解析
中野 光議 NAKANO Mitsunori	1. 淡水二枚貝類が関与する生物間相互作用による生物多様性の形成・維持機構の解明 2. 水生生物の生態を踏まえた環境配慮型の水田農法および農業水路の開発 3. 河川における淡水魚類の生活史の解明と保全に関する研究
望月 慎一 MOCHIZUKI Shinichi	薬物送達システム（DDS）の開発 新規がんワクチンの開発 アジュバントに関する研究
森田 洋 MORITA Hiroshi	地域農作物の生理的機能性と新規用途開発 室内カビ・ダニの新規制御法に関する研究 混合培養麹による清酒醸造に関する研究 液体麹による酒類醸造に関する研究
柳川 勝紀 YANAGAWA Katsunori	難培養性微生物の生理・生態学 生物地球化学的物質循環 環境動態解析

【環境生態システムコース】

教員名	研究テーマ・領域
浦西 克維 URANISHI Katsushige	大気質モデルや PMF モデル等を用いた大気環境についての調査・研究
加藤 尊秋 KATO Takaaki	環境政策の評価、社会的なリスク削減のための管理、教育、訓練手法
辻井 洋行 TSUJII Hiroyuki	地球・自然環境問題の動向を踏まえた倫理的経営理論
藤山 淳史 FUJIYAMA Atsushi	消費者行動・SDGs 評価に関する研究 エネルギーマネジメントシステムに関する研究 環境分野での情報技術の活用に関する研究
松本 亨 MATSUMOTO Toru	循環型社会形成に向けた都市・社会システムの設計・評価に関する研究 アジアの都市環境マネジメントに関する研究

環境工学専攻

【機械システムコース】

教員名	研究テーマ・領域
池田 卓矢 IKEDA Takuya	ネットワーク系の最適化理論およびデータ駆動制御理論に関する研究
井上 浩一 INOUE Koichi	次世代宇宙機用沸騰・二相流熱システムに関する基礎研究 発電用熱交換器の高性能化に関する研究 電子機器の冷却技術に関する研究
岡田 伸廣 OKADA Nobuhiro	画像を用いる三次元計測を中心としたロボット・メカトロニクス技術の開発とその応用に関する研究 複数の自己組織化マップの協調学習に関する研究
小田 拓也 ODA Takuya	再生可能エネルギーの大量導入に伴う需給調整課題に関する研究 エネルギー需要を能動化するエネルギーマネジメント技術の開発
片山 雄介 KATAYAMA Yusuke	相変化を伴う混相流および非定常流動現象に関する基礎的研究 エネルギー変換・再生可能エネルギーシステムへの応用
佐々木 卓実 SASAKI Takumi	構造非線形および材料非線形を利用した除振要素に関する研究 機械・構造物のための振動抑制技術の開発
趙 昌熙 CHO Changhee	生体機械工学、バイオトライボロジーに関する研究 臨床用人工関節の長寿命化・高性能化に関する研究
長 弘基 CHO Hiroki	形状記憶合金の物性研究 形状記憶合金を用いたアクチュエータおよび医療・福祉機器の研究開発
仲尾 晋一郎 NAKAO Shinichiro	衝撃波と境界層の干渉流れ場の CFD 解析に関する研究 衝撃波を伴う流れ場へのレーザー干渉法の適用に関する研究
宮國 健司 MIYAGUNI Takeshi	垂直軸マイクロ風車の高性能化に関する研究 可動式堰を付加した双胴式水面清掃船に関する研究 金属材料の摩擦攪拌接合に関する研究
宮里 義昭 MIYAZATO Yoshiaki	超音速流れに対するレーザー干渉法とレインボーシュリーレントモグラフィ計測法の適用に関する研究
村上 洋 MURAKAMI Hiroshi	AX 等の情報技術と先端加工・計測技術の融合による精密加工・計測技術の高度化に関する研究

【建築デザインコース】

教員名	研究テーマ・領域
安藤 真太郎 ANDO Shintaro	住環境による疾病予防効果を踏まえた経済効果検証 オフィスのデザインと運用最適化による知的生産性向上効果の検証
上野 貴広 UENO Takahiro	コミッションングやファインチューニングによる建築物の脱炭素化 ゼロ・エネルギー・コミュニティへのロードマップ設計 バイオフィリック・デザイン空間の環境評価 IoT や AI カメラを用いた外付け EMS の開発
城戸 将江 KIDO Masae	鋼およびコンクリート充填鋼管構造の耐震設計法 鋼およびコンクリート充填鋼管構造の安定設計法
白石 靖幸 SHIRAISHI Yasuyuki	建築都市空間における温熱・空気環境制御 建築設備一体化技術の最適制御 複合物理モデリングを活用した建築設備の最適設計
陶山 裕樹 SUYAMA Hiroki	産業廃棄物の建材リサイクル コンクリートの物性に影響を与える粉体混和材の因子 コンクリートの外観の定量化
高巢 幸二 TAKASU Koji	カーボンネガティブクリンカーフリーコンクリートの研究 都市ごみ焼却灰の無害化とジオポリマー活性フィラーとしての利用性に関する研究 バクテリアによる自己治癒型低炭素コンクリートに関する研究 再生材料等を複合混合した高性能コンクリートの研究 建築材料としての副産物系粉体の改質技術の開発
寺西 正輝 TERANISHI Masaki	鋼構造および木質系構造の構造解析 機械学習の構造工学問題への応用 光学技術による力学的特性の評価
デワンカー バート DEWANCKER Bart	都市計画に関する研究 環境共生建築・都市デザインに関する研究 ランドスケープ、都市及び建物緑化に関する研究
福田 展淳 FUKUDA Hiroatsu	建築デザイン、歴史的建築物に関する研究 建築計画学、都市計画学 低環境負荷のための建築設計・都市環境設計
福田 裕美 FUKUDA Yumi	生体リズムを整える光のスペクトルデザインに関する研究 照明と視覚の発達との関係性についての研究 パブリックスペースの照明計画に関する研究
保木 和明 HOKI Kazuaki	鉄筋コンクリート構造 既存建物の耐震性評価法・補強設計法 耐震工学

情報工学専攻

【計算機科学コース】

教員名	研究テーマ・領域
伊藤 友輔 ITO Yusuke	次世代ネットワークアーキテクチャにおける資源割当・管理、スケジューリングに関する研究
上原 聡 UEHARA Satoshi	情報理論、符号理論、情報セキュリティ：数学的背景に基づく符号の構成法や性能評価に関する研究
古閑 宏幸 KOGA Hiroyuki	コンピュータネットワークのアーキテクチャや構築・運用技術、トラフィックエンジニアリング技術に関する研究
孫 連明 SUN Lianming	制御と信号処理分野において、数学モデルを構築するシステム同定の方法論、制御系設計と適応信号処理への応用に関する研究
松岡 諒 MATSUOKA Ryo	数理モデリング、人工知能、機械学習、数理最適化を基盤とした、リモートセンシング、画像処理、医用画像解析、コンピュータビジョン、信号処理、データ解析、異常検知に関する研究
山崎 恭 YAMAZAKI Yasushi	生体認証（バイオメトリクス）を主要テーマとした、安心・安全・便利をキーワードとする情報セキュリティ、パターン認識に関する研究開発
楊 光 YANG Guang	フィジカル AI に基づくロボット行動生成、知覚・推論・意思決定を統合した知能システム設計、モジュラーロボットおよびフィールドロボットの自律制御に関する研究

【融合システムコース】

教員名	研究テーマ・領域
ゴー チュイリン GOH Chooi Ling	自然言語処理分野における生成 AI の応用に関する研究
佐藤 雅之 SATO Masayuki	心理物理学の実験手法を用いた人間の視覚情報処理メカニズムの解明、特に、両眼立体視による空間知覚に関する研究
杉原 真 SUGIHARA Makoto	VLSI や組込システムを対象とした設計技術に関する研究、及び自動車 IT システム設計技術に関する研究
高島 康裕 TAKASHIMA Yasuhiro	最適化アルゴリズム、VLSI 設計自動化技術、量子アルゴリズムを含む高性能計算アルゴリズム実装
玉田 靖明 TAMADA Yasuaki	VR 技術開発とスマート視機能検査のための心理物理学的な研究
中武 繁寿 NAKATAKE Shigetoshi	アナログとデジタル混載集積回路の自動設計技術、低電力化技術、及び医療・防災分野におけるセンサシステムの集積技術に関する研究
西田 健 NISHIDA Takeshi	ロボットの智能化技術、仮想空間と現実空間の連動により AI を高速化する技術、機械学習によるロボット制御技術に関する研究
早見 武人 HAYAMI Takehito	電気・光を用いた神経機能に関わる医用検査、手術支援、治療技術、及び人間の行動特性を調べるための心理学機器の研究
藤澤 隆介 FUJISAWA Ryusuke	群知能および群ロボットの制御に関する研究 生物の外界認識機能に関する研究 機械学習を用いた識別に関する研究
松田 鶴夫 MATSUDA Tsuruo	生体情報獲得 メカトロニクス制御 脳神経磁気・電気刺激 リハビリテーション応用技術 等に関する研究
山崎 進 YAMAZAKI Susumu	1. 半導体設計 2. ソフトウェア

Form 1

2027年度4月入学・2027年度10月入学
北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科
April, 2027 Enrollment or October, 2027 Enrollment
Graduate School of Environmental Engineering, The University of Kitakyushu

受験番号 Examinee No.	(Do not fill in)
----------------------	------------------

研究領域等希望調査書 / Research Plan Survey

フリガナ / Furigana	
氏 名 Name	
志望専攻 / Program	
志望コース / Course	

「本大学院で研究しようとする分野」および「希望する研究指導教員」を記入してください。
(必ず事前に、各コースのメールアドレスに問い合わせてください。)

State the "Research area you would like to study" and "Name of the research and education supervisor" in the faculty by whom you would like to be instructed after enrollment".

You must contact the faculty member you would like to have as your research supervisor before applying.

本大学院で研究しようとする分野 Research area you would like to study	
希望する研究指導教員名 Name of the research and education supervisor	

大学または大学院等で専攻した分野について記入してください。
State your current research field at university or graduate school.

大学または大学 院等でのゼミまた は専攻した専門分 野等 Your current Research field at University or Graduate School	
指導教員名 Instructor's name	

《 注意 / Notice 》

別紙にて入学希望理由書を作成し、提出してください。

A4 1枚程度、様式自由。必ず志望専攻・コース名を記入してください。

Write your reasons for applying on one sheet of A4 size paper, free form.

Make sure to fill out your name, and the name of the graduate program and course you would like to take.

(博士前期課程 / Master's Program)

出願資格審査／オンライン試験事前審査申請書

Form 2

Screening of Qualifications for Applying Application / Online Selection Application

2027 年度 4月 入学・2027年度10月 入学 北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科(博士前期課程)
April 2027 Enrollment or October 2027 Enrollment : Graduate School of Environmental Engineering,
The University of Kitakyushu, Master's Program

申請日 Application Date 年 Year: 月 Month: 日 Day:

選抜区分 Selection Division	外国人学生等特別選抜 Special Selection for International Students	審査受付期限 Deadline for Screening Applications	2026年9月11日(金) September 11 (Fri), 2026
入学時期 Enrollment Period	☐ 4月 / April ☐ 10月 / October どちらか選択 Select One		
試験会場 Examination Site	☐ 北九州市立大学ひびきのキャンパス The University of Kitakyushu, Hibikino Campus ☐ オンライン試験 Online Selection どちらか選択 Select One		
申請区分 Application Type	☐ 出願資格審査 Screening of Qualifications for Applying ☐ オンライン試験事前審査 Screening of Online Selection 該当するものを選択 Check the items that you apply		
フリガナ/Furigana*1			
氏名 Name *2	姓 / Family name, Middle name	名 / First name	性別 Gender ☐ 男性 Male ☐ 女性 Female
氏名(パスポートの アルファベット表記) Name (alphabetic notation as in the passport)	写真貼付欄 Glue Photo here 1. 4cm×3cm 2. 上半身、無帽、背景なし、 正面向き Upper body, no hat, no background, looking straight 3. 眼鏡の有無、髪形等試験 場で不審をいだかれるような 写真を用いてはいけません Use photo that will not cast any doubt on examiner (for example wear eye glasses if you do.) 4. 全面のりつけのこと Firmly glue the photo here.		
生年月日(西暦) / Birthday :	国・地域 / Nationality		
年 Year	月 Month	日 Day	
入学時年齢 Age (As of the date of Enrollment)	歳		
住所・連絡先 / Contact ※海外在住の方の書類は全てこの住所に送付されます。送付先が異なる場合は必ずお知らせください。 All documents for applicants residing outside Japan will be sent to this address. If there are any changes inform us.			
郵便番号 / Postal Code			
住所 Address			
電話番号 / TEL	携帯電話番号 / Mobile		
メールアドレス / E-mail	@		

*1 使用中のフリガナがあれば記入してください。 Japanese pronunciation should be written in Katakana characters if you know.

*2 漢字氏名があれば記入してください。 Write your name in Chinese characters if you have.

志望する専攻・コースを選択してください。 Select a Program and a Course you want to enroll in.

☐ 環境システム専攻 / Graduate Program in Environmental Systems
☐ 資源化学システムコース / Resources and Chemical Systems
☐ 生命工学コース / Life Science and Biotechnology
☐ 環境生態システムコース / Environmental and Ecological Systems
☐ 環境工学専攻 / Graduate Program in Environmental Engineering
☐ 機械システムコース / Mechanical Systems Engineering
☐ 建築デザインコース / Architecture
☐ 情報工学専攻 / Graduate Program in Information Engineering
☐ 計算機科学コース / Computer Science
☐ 融合システムコース / Applied Information Systems

受験時使用言語を選択してください。 Select a language used for the test.

受験時使用言語 / Language used for the test	☐ 日本語 / Japanese	☐ 英語 / English
--------------------------------------	---	---------------------------------------

【審査受付期間 / Screening Application Period】

2026年9月11日(金) 必着

September 11 (Fri), 2026 (The application must reach us no later than this date without fail.)

(博士前期課程 / Master's Program)

履歴書 / Personal Resume			
年 月 Year / Month		年数 Number of Years	経歴等(学歴・職歴・研究歴等について記入してください) Academic records, Employment records, Research History, etc.
自 From 至 To	/ /		小学校名(初等教育) / Name of Elementary School (Primary Education)
自 From 至 To	/ /		中学校名(中等教育) / Name of Junior High School (Secondary Education)
自 From 至 To	/ /		高等学校名(中等教育) / Name of High School (Secondary Education)
自 From 至 To	/ /		大学・学部・学科・専攻名等(高等教育) / Name of University, Faculty, Department, Major (Higher Education)
自 From 至 To	/ /		大学・学部・学科・専攻名等(高等教育) / Name of University, Faculty, Department, Major (Higher Education)
自 From 至 To	/ /		大学院・研究科・専攻名等(高等教育) / Name of Graduate School, Programs (Higher Education)
自 From 至 To	/ /		大学院・研究科・専攻名等(高等教育) / Name of Graduate School, Programs (Higher Education)
自 From 至 To	/ /		
自 From 至 To	/ /		
自 From 至 To	/ /		

○ 研究成果・報告書・公的資格などこれからの研究の参考となる経歴について記入してください。

Research results, reports, official certifications, etc. that might serve as reference for the future studies.

年 月 Year / Month	タイトル Title	備考(論文の概要・認定機関名等) Abstracts of research papers, Name of accreditation organization
/		
/		
/		
/		
/		